

クマ対策最前線

～第3回 集落ぐるみで防ぐ 集落型ゾーニング～

- 第1回 ゾーニング管理とは (4月号)
- 第2回 市街地型 (5月号)
生活圏に近づけない 市街地型ゾーニング
- 第3回 集落型 (今号)
集落ぐるみで防ぐ 集落型ゾーニング
- 第4回 市民行動 (7月号)
みんなでできるクマ対策 地域で守る安心

クマは、住宅地周辺にも現れるようになっていきます

近年、市街地周辺でもクマの出没が増えています。人家の裏山や農地、やぶなどを通して生活圏の近くまで入り込み、人身被害につながるおそれがあります。本特集では、クマ対策を全4回にわたり紹介しており、前回まではゾーニング管理の考え方と市街地型ゾーニングについてご紹介しました。今回は第3回として、市内に点在する集落でのゾーニング管理(集落型ゾーニング)に焦点を当て、これまで先行的に取り組まれている集落を中心に市の支援制度をご紹介します。

集落型ゾーニングとは？

クマの生息地に近かったり、行動圏に囲まれた集落では、捕獲よりも周辺の環境整備が効果的と考えられています。また、周辺の地形や山林・農地などの配置によって、クマが侵入する経路や要因は異なります。そのため、各集落で危険な場所や侵入経路を点検し、やぶの刈払いによる見通しの確保や、果樹など誘因物の管理・除去を地域ぐるみで計画的に進めるなど、地域の実情に応じたクマの侵入を許さない被害防除対策を行う取り組みが必要です。



▼阿仁伏影集落、向黒沢集落、杉山田集落などでは、地域ぐるみでの対策に取り組まれており、国、県、市ではこの活動を支援しています▼

向黒沢集落の緩衝帯整備の事例



複数の取り組みを合わせた阿仁伏影集落の事例



- 1 黄柵 果樹を守りたい(電気柵の設置)
- 2 茶柵 見通しを良くしたい(やぶ等の刈払い)
- 3 紫柵 管理できない栗の木は伐採したい(誘因物除去)

杉山田集落の計画づくりの事例



地域で取り組むための支援制度：地域ぐるみの対策を進めるため、市では各種支援を行っています。

●地域ぐるみのクマ対策支援

専門家による現地確認や、被害防除対策の計画づくりを支援する事業などを活用し、地域ぐるみの取組を支援します。(森づくり県民提案事業、クマ対策専門家派遣事業、出前講座等)

●果樹木伐採補助金

放置された果樹木の伐採費用を補助します。(自治会等が申請する場合は「地域ぐるみの環境整備支援」を新設)

●獣害防止対策事業補助金(電気柵、防護柵、防獣ネット等)

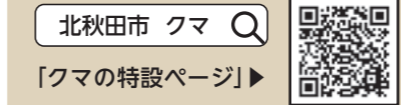
農地や集落周辺への電気柵等の設置費用を補助します。(残したい果樹木にも活用できます)

●地域ぐるみの環境整備支援(令和8年度新設)

自治会や各団体等を対象に大規模な下刈りや果樹木等の伐採を支援します。

●住民向け研修会・出前講座

クマの習性や被害防止対策について学ぶ研修会や出前講座を開催します。



問い合わせ 農林課森林環境係 ☎62-5517

▶次回【第4回】みんなでできるクマ対策 地域で守る安心

北秋田市公式 Instagram フォトコンテストを開催します！ #きたあきたフォトコン 2026

あなたの撮影した北秋田市のとおきの写真に「#きたあきたフォトコン2026」
「#きたあきた宣伝部」をつけてシェアしてください！皆さまのご応募をお待ちしております！

実施期間 6月1日(月)～10月31日(土)

撮影期間 令和7年11月1日～令和8年10月31日

参加対象 Instagramで「北秋田市(公式)」アカウントをフォローしている方

入賞者にはクオカードを贈呈します!!

1位▷5,000円(1名) 2位▷3,000円(1名) 3位▷1,000円(3名)



応募方法

1 フォロー

Instagramアプリをダウンロードし「@kitaakita_city」をフォローする



2 撮影

北秋田市内の、風景や食べ物、イベントなどの対象の写真を撮影



3 Instagramに投稿

- ①キャプションに「作品のタイトル」「撮影した場所」を記入
 - ②ハッシュタグ「#きたあきたフォトコン2026」「#きたあきた宣伝部」をつけて投稿！
- ※①②の情報がない場合、審査対象外となります。
その他詳しい参加条件は、市HPからご確認ください。

問い合わせ
総合政策課広報係 ☎0186-62-6608

詳しい要件は市HPより
ご確認ください！

